

(2026/6/14 (日)) 令和8年度つるおか森の時間
「大学の森の初夏を楽しもう」 活動報告



【開会式：山形大学農学部上名川演習林】

天気は晴れ。

鶴岡市役所に集合後、マイクロバスで演習林まで移動し、施設正面で開会式を行いました。



【山形大学農学部上名川演習林】

施設から南の方に森林散策へ。

山形大学農学部食料生命環境学科エコサイエンスコースの准教授であり、演習林のやまがたフィールド科学センターの流域保全部門長である菊池先生から、川沿いに生息するクルマミヤトチノキの生態や樹木の葉の特徴、季節ならではの花などについてお話を聞きながら散策しました。



【山形大学農学部上名川演習林】

施設の帰り道に生えていた山菜「ミズ」を採取しました。

根っこは採らず根元からポキッと折るようにし、生態系を変えないよう配慮しながら採取する参加者の方の姿が見られました。



【山形大学農学部上名川演習林 食堂】

採取した「ミズ」の調理へ。

「ミズ」の皮をむき、各自役割分担をしながら食材の下処理を行いました。

「すたんど割烹みなぐち」の水口氏からは「ミズの生春巻き」の作り方をご指導いただきました。





【山形大学農学部上名川演習林 食堂】

「本町バルハレトケ」の佐藤氏からは「ミズのジェノベーゼ」の作り方をご指導いただきました。月山竹のむき方などコツを教えていただき、実践する姿も。



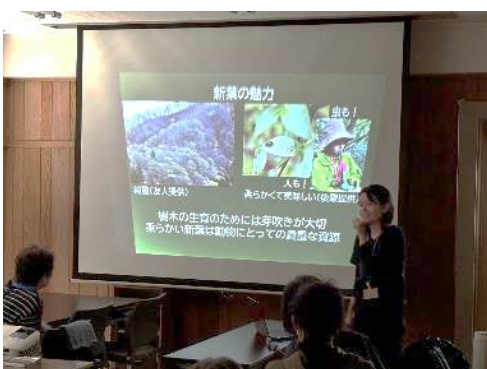
演習林で特別に採取した「ミズ」と料理のプロであるお二人からのご指導のもと、美味しく完成した料理を味わいながら笑顔で食べる皆さんの姿が見られました。



【山形大学農学部上名川演習林 食堂】

食後は、実際に演習林で研究をしている博士課程3年のお二人から、その研究内容について説明していただきました。

はじめに、横山さんから「樹木が感じる雪の重さ-樹木の雪への屈服から克服まで-」という、雪に埋まったブナの引張の特徴や気候変動によるその変化についてお話しいただきました。



【山形大学農学部上名川演習林 食堂】

次に、庄司さんからは「リスクを取らなければ葉は開かない?-新葉の命をかけた吸水と気候変動の脅威-」という、新芽の芽吹き条件や地球温暖化などが及ぼす影響についてお話しいただきました。



【山形大学農学部上名川演習林 森林散策】

講話の後は、森林散策と川散策の二手に分かれて活動を行いました。

森林散策では午前中とは違う道を歩き、菊池先生から道中にある複葉の種類やシダ植物などについてお話を聞きました。



【山形大学農学部上名川演習林 川周辺散策】

川散策では、橋を渡った先にある川で、水生昆虫を観察したり、自分だけの石を探したり、それぞれの時間をゆっくりと過ごしました。



【閉会式：山形大学農学部上名川演習林】

全ての工程を終え、施設の前で閉会式を行いました。閉会式では、先生方からの講評と参加された方2名から感想をいただき、マイクロバスに乗って市役所へ戻り、解散となりました。皆さま、大変お疲れさまでした。